

本日の
プログラム

会長年頭挨拶 井上善博 会長 / 年男の弁(1)

2022タイ検証ツアーについて

地区国際奉仕・VTT委員会 委員 高張秀人 氏

地区におけるWCSの始まりは、札幌東RCとも聞いておりますので、世界社会奉仕(WCS)を勉強させていただきました。昔から現在まで継続していただいていることに感謝申し上げます。

2019年1月に検証ツアーを実施後、COVID-19の感染拡大となり2020年・2021年は中止となり、今年度は人数を18名に絞り3年ぶりの開催となりました。2021-22年度国際奉仕事業の確認は、環境事業・教育図書事業・WASH事業・以前実施したグローバル補助金事業の持続可能性についてです。

①バーンドゥア保健所

COVID-19の感染拡大で多くの集落がロックダウン。そのためスラムへの物資支援・手洗い・衛生指導が緊急の課題となり、保健所とロータリーが、チームで実施。保健所には清潔な水がなかったため、2020-21年度、水事業・COVID-19支援事業として、浄化装置を設置。2021-22年度WASH事業を実施。多くの方が重症化し亡くなっておりましたが、保健所の専門家より子ども達や集落の方々へ指導が行われ改善していきました。浄化装置は、保健所の皆さんが管理され地域の水と衛生に貢献し続けております。

②バンシーガイ学校、バンプラオヌエ学校

COVID-19がない頃は歓迎の踊りや食事がありましたが、コロナの影響によりお菓子を渡し事業確認のみの実施となりました。校長先生からは感謝と子ども達が特に絵本を喜んでいる旨伺いました。最初の簡易的な手洗い装置から工夫されWASHスタンドが完成。しかしWASHスタンドは少し高さがあり子ども達には工夫が必要でした。

③メコン川沿岸、及び公立公園での

清掃とリサイクルBOXの設置

副市長・市職員・市民ボランティア・職業訓練事業を行ってきたノンカイ技術訓練校の方々・ASEANカレッジのローターアクターと一緒に、消防車で放水しながら、100人以上で竹箒を使い清掃しました。先月まで雨季であり、大雨や洪水により泥なども多く非常に重要な活動と思われました。環境保全、グローバル補助金事業のパイロット事業として、ラオスとの国境や公立公園にリサイクルBOXを設置。3つの容器に色分けされており、水色は紙類・オレンジはプラスチック・黄色は金属となっており、集めたものを資源として売却しお金に替える持続可能な活動となっております。

④ノンカイ市庁舎で贈呈式の開催

市長より感謝の旨が伝えられ、ノンカイ職業訓練校・技術訓練校・小学校の生徒へ直接奨学金をお渡ししました。

⑤VTTとしてロイヤルキングスクールその後の確認

歓迎セレモニーでの踊りは、今回のツアーではこの1箇所のみとなり、大変貴重な経験となりました。また、我々が着ているジャンパーの刺繍は、VTTの縫製組にデザイン・制作していただいております。2015年3月と8月より実施された、縫製・製品制作訓練では素晴らしい作品を作れるようになり、就職または製品の販売ができるようになりました。同じく開始された調理・商品制作訓練は、当時物置のような空間に衛生的ではない古い調理器具が散在しておりました。今では専門の調理器具を設置し、換気も含め整備されました。指導する先生の技術も上がり、生徒達は基本的な調理から販売用のスイーツ制作まで行えるようになりました。さらには芸術訓練が新設されておりました。

⑥マハチュラロンコンラジャヴィディヤラ大学

にて贈呈式

2022-23年度の事業として、3350地区バンコククロントイRCとの共同事業で僧侶の卵である学生達へ教育資材を贈呈しました。

検証ツアーを終えて先輩方が取組み継続してきたVTTは、子ども達に大きな機会を与えていく術を与えることができました。また、我々自身も、職業奉仕の大切さを感じることができました。WCSから始まった国際奉仕事業はコロナ禍でも確実に事業を進めております。もし水と衛生事業やWASH事業がなければ、多くの人たちが多大な被害を被ったのは想像に難くありません。事業に関わった全ての人に感謝し、継続できたことに誇りを感じます。これからも多くのRC・多くのロータリアンにご理解いただき、未来と一緒に創造していきたい。ロータリー財団・国際奉仕へのご支援は、持続可能な未来に向け、多くの笑顔を生み出しております。引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

